

# 生態系生産動態論分野

Ecosystem Production and Dynamics

生態系の物質生産と炭素動態および植物生理生態学的  
機能の解明と利用 (<http://www.soma.kais.kyoto-u.ac.jp/>)

(および農学研究科・森林科学専攻・森林利用学分野)

# 研究室の特徴:

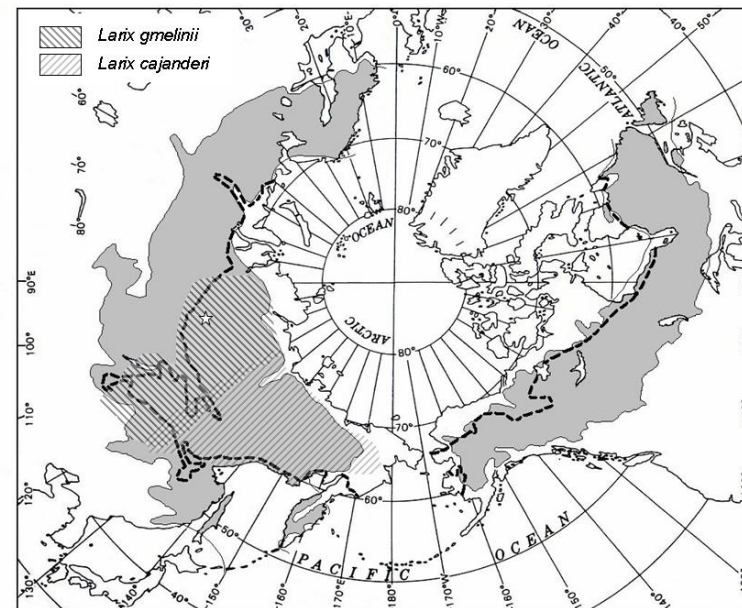
## 統合的・グローバル・インターナショナル

- ▶ フィールド調査・実験に基づいたデータ収集と理論・モデル解析による統合的な研究
- ▶ 極域から熱帯まで含んだ包括的研究スタイル

亜寒帯林森林構造復元および炭素動態研究（科研費、JSPS二国間共同研究; カナダ、フィンランド、エストニア、ロシア、アラスカ、モンゴル）、日本の温帯林炭素動態研究（科研費）、アマゾン熱帯林の炭素動態研究(科研費; ブラジル) 東南アジア熱帯林の樹木生態・生理・解剖学的研究、

- ▶ 教育・研究の国際化

研究室在籍の海外からの研究者・学生（トーゴ、ドイツ、韓国、カンボジア、ミャンマー、セネガル、アフガニスタン 各1人、バングラデシュ 2人）  
 各種海外プロジェクト（カナダ・アラスカ・北欧・ロシア・ブラジルにおける海外学術調査）  
 海外協力大学等（カナダ国立森林研究所北方森林研究センター、ロシア科学アカデミー・スカチョフ森林研究所、フィンランド国立天然資源研究所、ヘルシンキ大学、エストニア・タリン大学、フランス・ナンシー大学、タイ・チュラロンコン大学、ブラジル国立アマゾン環境研究所(INPA)(ほか)



# Research Topics

## 森林構造発達

森林成長の数学モデル

樹木年輪解析と過去の森林構造復元

森林構造復元にもとづいた過去の生産量と気候変動推定

## 生態系の炭素動態

森林、ツンドラ、マングローブ生態系などの炭素動態推定

炭素安定同位体を用いた生態系炭素動態推定

生態系純一次生産量に占める細根生産の役割

## 樹木の生態木材解剖学・樹木生理学

水分通導の生態生理学

木材の解剖学的特徴と水分通導

安定同位体・解剖学的特長を用いた熱帯林樹種の年輪検出

および森林構造発達様式の推定



# 構成員と進路

## 教員・研究員 7名

教授	大澤晃
准教授	岡田直紀
助教	檀浦正子
ポスドク(博士 研究員)	M. Kamara F. Folega 守口海 J.Y. An

## 事務補佐員 1名

## 学生 21名

博士課程	10名(学堂3名)
修士課程	M2 : 5名(学堂0名) M1 : 2名(学堂1名)

学部生 (農学部森林科学科)

4年生 : 4名

## 卒業・修了生の進路

- ➔ 2017年度  
林野庁, ニトリ, 富士通, 野村総研,
- ➔ 2016年度  
林野庁(2人), Yahoo Japan, 滋賀県,  
伊藤忠
- ➔ 2015年度  
日本林業技術協会, 博士後期課程進学(3人)
- ➔ 2014年度  
国際航業, (独)森林緑地整備センター  
博士後期課程進学(2人)
- ➔ 2013年度  
王子製紙(2人), エックス都市研究所
- ➔ 2012年度  
兵庫県, 東洋紡, 森林総合研究所(2人)